

事業実施計画書

受付NO

1. 事業実施主体及び参画事業者の概要

事業名	GFPフラッグシップ輸出産地形成プロジェクト
品目	

事業実施主体名及び連絡先	団体名：		
	団体代表者 氏名：		
	（以下、事業担当者の氏名等）		
	氏名（ふりがな）：		
	所属（部署名等）：		
	役職：		
	所在地：		
	電話番号	FAX	
E-mail：			
URL：			
経理担当者名及び連絡先	氏名（ふりがな）：		
	所属（部署名等）：		
	役職：		
	電話番号	FAX	
	E-mail：		
URL：			
個人情報情報の取扱い	同意します	<input type="checkbox"/>	本事業の実施に当たり、輸出促進法の第13条に則り、事業者名、所在地、事業規模等について、事業実施主体の規模及び性質、採択の有無等に関わらず、株式会社日本政策金融公庫に提供することに同意します。
	同意しません	<input type="checkbox"/>	※同意いただけなかった場合でも、事業の採択等に影響はございません。 ※輸出促進法 第13条 国、都道府県等、株式会社日本政策金融公庫は、農林水産物及び食品の輸出の促進の総合的かつ一体的な推進を図るため、相互に連携を図りながら協力するよう努めなければならない。

事業実施主体の概要

- (1) 事業実施主体の名称
- (2) 主たる事務所の所在地
- (3) 代表者の役職名及び氏名
- (4) 設立目的
- (5) 設立年月日及び事業年度
- (6) 主たる業務の内容

※都道府県が事業実施主体の場合、(4)、(5)、(6)は記載不要

参画事業者の概要

※参画事業者ごとに記載してください。

- (1) 参画事業者の名称
- (2) 主たる事務所の所在地
- (3) 代表者の役職名及び氏名
- (4) 設立目的
- (5) 設立年月日及び事業年度
- (6) 主たる業務の内容

※団体ホームページのURLを記載してください。

※上記ホームページに、以下の情報が記載されている場合はをお願いします。

- 業務(事業)内容
- 財務状況

過去の類似・関連事業の実績、実施内容等

事業担当者の業績等

※事業担当者全員の業績を事業担当者ごとに具体的に記載してください。

※事業実施主体及び参画事業者の事業担当者について記載してください。

事業統括者 ○○ 太郎 (所属・役職)

プロフィール

○○担当 ○○ 花子 (所属・役職)

プロフィール

(注) 事業ご担当者様全員の本事業に関連する今までの業績(プロフィール)をご記載ください。履歴書ではなく、この事業を実施するのに適任者とわかるような説明をお願いいたします。

今年度、既に採択が決定及び実施している農林水産省の補助事業があれば、その事業名及び事業概要を記載してください。

【事業名】

〇〇推進事業

【事業概要】・・・簡潔に記載してください

〇〇の取組を支援するもの

※事業実施主体又は参画事業者が、令和5年度GFPグローバル産地づくり推進事業に応募した場合はをお願いします。

令和5年度GFPグローバル産地づくり推進事業に応募した。

※※上記に応募した者の名称を記載してください。

(事業実施主体が都道府県の場合、農林水産省に提出した事業実施者名等を記載してください。)

〇〇株式会社 (品目: 〇〇)

〇〇農業協同組合 (品目: 〇〇)

過去3年以内における補助金等の交付決定取消の原因となる行為の有無及びその概要

※該当する場合には、当該取消を受けた日を記載してください。

1. 事業概要

【本事業で取り扱う輸出重点品目】

【輸出対象国名】

品目〇〇：〇〇国

※品目別に輸出対象国名を記載してください。

【事業の目的】

※輸出に当たっての実績や取組の背景となる課題等について記載してください。

取組もうとする事業内容が、実施規程第3の事業内容に資するものであることを具体的、かつ簡潔に記載してください。

【事業の背景及びこれまでの取組】

※これまでの取組及び事業実施の背景について記載してください。

※輸出産地拡大に向けた取組等特筆すべき事項があれば記載してください。

【事業計画概要】

(1) 都道府県版GFPの組織化による推進体制の構築

※ 概要を簡潔に記載してください。

(2) 旗艦的な大ロット輸出産地のモデル構築

ア 生産方法の転換

※ 概要を簡潔に記載してください。

イ 集荷、船積み方法の転換

※ 概要を簡潔に記載してください。

2. 実施方法

(1) 都道府県版GFPの組織化による推進体制の構築

※事業全体のコーディネート、生産者等への技術指導、販路の開拓を誰が行うのかわかるように記載してください。

※ 輸出支援プラットフォーム等との連携体制や連携する内容について記載してください。

(2) 旗艦的な大ロット輸出産地のモデル構築

ア 生産方法の転換

イ 集荷、船積み方法の転換

(3) 生産・流通コスト2割削減に向けた取組

- ・指標（削減するコストの内容）
- ・削減に向けた取組の内容

- ・実施期間、方法、手順、スケジュールなど具体的に記載してください。
- ・他の事業では、経費として計上されているにもかかわらず、事業内容や実施方法には記載がない場合が多々みられます。必ず事業実施計画と経費の積算根拠が対応するように記載をお願いいたします。

(記入例)

- ・イベント、試験販売等の日時、会場、参加予定人数・属性、ターゲットについて、イベントのプログラム等の具体的な実施内容。
- ・展示会・商談会の概要、日時、会場、参加予定人数・属性、商談件数等具体的な内容
- ・販促資材の作成（種類、言語等を含む具体的な内容）
- ・海外ECサイトの出店（サイトの概要等と具体的な内容）
- ・Webサイト作成・SNS発信（発信言語、ターゲット、アクセス目標等を含む）
 - ・リースで導入する農業機械等の具体的な機械の種類、仕様、能力、方法について、導入することによって得られる成果
 - ・改植等を行うことによって得られる成果等

3. 実施体制

複数の事業者と連携して事業を実施することは、本事業の応募必須条件となっています。事業実施体制を図示してください。

どのように輸出に繋がっていくのか明確に分かるよう、海外との連携についても記載してください。連携又は委託を行う団体がある場合には、その名称、概要及び事務処理体系についても記載してください。

4. 改植等

※改植等を行う場合、改植等の実施方針を可能な限り詳細に記載してください。
※別記様式1別添4及び別添5にも記載してください。（公募の際は別添4及び別添5は不要）
※既存の改植等支援の支援を受けている取組については、本事業の支援対象外です。

(1) 事業実施区域

(2) 改植等の実施方針・実施内容

(3) 本事業とは別の国費や県費等が投入された事業との関連概要
(本事業における改植等対象園地において該当がある場合に記載)

ア 該当園地
※住所、面積等

イ 事業名

ウ 事業の所管
※省庁や地方公共団体等の名称を記載すること。

エ 実施年度

オ 改植等の内容

※対象設備等を具体的に記載すること。

5. リース導入する施設・設備・機械

※リース導入する施設・設備・機械があれば記載してください。

(1) 主として使用する者（事業実施主体又は参画事業者のいずれかを記載）

(2) 設置場所

ア 設置場所の名称

イ 設置場所の所有者

ウ 所在地

エ 設置場所の所有者が事業実施主体（参画事業者含む。）でない場合には、賃貸関係が明らかとなる書類を添付。

(3) 導入する施設・設備・機械の内容

施設・設備・機械の名称	機能	規模・能力	数量	物件価格（円）

※物件価格が分かる見積書を添付してください。

(4) リースを行う農業機械等の決定の根拠

機械の種類・形式	リース物件価格（千円）	リースを行う農業機械の選定理由及び規模決定の根拠	備考

注1：「リース物件価格（千円）」の欄は、リースする農業機械等の販売業者により設定されている小売希望価格（設定されていない場合は一般的な実勢価格（税抜価格））を記入すること。

2：「リースを行う農業機械の選定理由及び規模決定の根拠」の欄の「規模決定の根拠」は農業機械の能力を決定（導入する機械の能力、台数、単価等）した計算過程をその根拠となる機械の能力等の具体的な

数値を用いて記入すること。

3：リースする農業機械等の価格が400万円以上の場合、その機械等をリースする理由を「リースを行う農業機械の選定理由及び規模決定の根拠」の欄にあわせて記入すること。

(5) リース事業者に機械を納入する業者の選定方法の計画

入札方法（いずれかに○をする）	指名業者選定の考え方	備考
一般競争入札 ・ 指名競争入札		

注：「指名業者選定の考え方」の欄は、一般競争入札以外の選定方法で業者を選定した場合、記入すること。

(6) リース料

施設・設備・機械の種類	物件価格	補助金相当額	支払期間	リース料金（月額・年額）
-------------	------	--------	------	--------------

の名称				(上段：月額) (下段：合計)
	円	円		円

※リース料が分かる見積書を添付してください。

※導入する施設・設備・機械ごとに記入してください。

※「リース料金」の欄は、機械等のリース料相当額を記入すること。また、リース契約内容のわかる資料を添付すること。

(7) リース会社の名称及び概要

ア リース会社の名称及び代表者

イ 所在地及び電話番号

ウ 資本金

エ 主な株主

オ 関係書類

導入する施設・設備・機器のパフレット、見積書の写し、複数の相見積り（実績報告の際には、別紙の補助金支払確認書を添付してください。）

6. 輸出事業計画の認定

既に認定を受けている

※事業実施主体または参画事業者のいずれかが農林水産物及び食品の輸出の促進に関する法律（令和元年法律第57号）第37条に基づき、農林水産大臣から輸出事業計画の認定を受けている場合、チェックしてください。

【輸出事業計画の認定を受けている者の名称】

※輸出事業計画の認定を受けている者をすべて記載してください

〇〇株式会社（品目：〇、目標とする輸出先国、地域：〇、目標輸出額：〇億円）

〇〇農業協同組合（品目：〇、目標とする輸出先国、地域：〇、目標輸出額：〇億円）

7. 実施スケジュール

（主な内容が分かるよう事業内容毎、月別スケジュールにて記載してください。）

（記入例）※期間は原則として令和5年4月から令和6年3月までとなります。

	〇年	…	〇年	…	〇年
--	----	---	----	---	----

	〇年 〇月		〇年 〇月		〇年 〇月
1 都道府県版GFPの組織化による推進体制の構築		←	〇〇EXPOの 出展	→	←
					FOODEX出展 輸出事業計画策定
2 旗艦的な大ロット輸出産地のモデル構築 ア 生産方法の転換		←	改植等を実施	→	←
2 旗艦的な大ロット輸出産地のモデル構築 イ 集荷、船積み方法の転換			←	〇〇を実施	→

8. 事業の成果目標（達成すべき成果）、波及効果

（1）成果目標

<必須>

事業実施主体の目標年度は、本事業実施年度の1年後とし、成果目標は目標年度における

- （1）輸出額
- （2）輸出増加割合
- （3）輸出量

<任意>

- （4）輸出向け栽培面積の拡大（耕作放棄地の活用による拡大含む）
- （5）輸出向け生産を行う農林漁業者の増加
- （6）国産原料の使用量・増加割合
- （7）輸出先国の規制・ニーズに適合した新商品の開発、商品の改良等
- （8）ブランド化、G I等の知的財産の取得に向けた活動
- （9）新たな販路の開拓
- （10）（1）から（9）まで以外の輸出に関する事項

※事業実施後、1年後における目標とする。

併せて、今後の目標も記載すること。

- ・現状の実績と将来の目標が明確に比較できるようにするとともに、目標の達成方法、持続性について等具体的な内容をご記載ください。
- ・波及効果について、具体的にご記載ください。
- ・必須の成果目標である輸出額・輸出額・輸出割合は、別記様式第1号別添3（Excel）へご記載ください。
- ・任意の成果目標を設定する場合には、この欄に現状値と目標値等を記載してください。

【記載例】輸出向け栽培面積の拡大

令和3年度：●₁、令和4年度：●₂、令和5年度：●₃、令和6年度：●₄

9. 事業に参画する農林漁業者・事業者の所得向上効果の把握・検証

実施規程第8第2項にて本事業に参画した農林漁業者、食品製造業者等（参画事業者の構成員含む）に裨益する効果（所得向上等）を把握し、検証することとしております。

株式会社JTBによる検証は、別記様式第11号別添3-1～4「所得向上効果の把握・検証」を用いて行いますので作成についてご対応願います。

<所得向上効果の把握・検証>

- ①決算書上の利益
- ②平均的な規模の経営体の年間平均所得

- ③役員報酬、従業員給与の推移
- ④仕入単価、販売単価等の推移

10. 事業成果・効果の検証方法

・設定した成果目標を受けて、その進捗及び達成度合いを確認及び検証するための方法を具体的にご記載ください。

II 事業別内訳

事業内容	総事業費 税込み (A+B+C)	国庫補助金 税別 (A)	事業者負担		備考 積算根拠を 具体的に記載
			税別 (B)	事業費総額 に対する税 (C)	
実施規程通りの事業内容を 記載してください。					
1. 都道府県版GFPの 組織化による推進体制の構築	円	円	円	円	別添2 に記載してくだ さい。
2. 都道府県版GFPの 組織化による推進体制の構築	円	円	円	円	別添2 に記載してくだ さい。
ア 生産方法の転換	円	円	円	円	
イ 集荷、船積み方法の転換	円	円	円	円	
計	円	円	円	円	

- 注1：備考欄には、別添2（Excel）のフォーマットを使用し、積算根拠等を記載してください。
 2：事業の一部を他の者に委託する場合には、別添2（Excel）に委託先と委託する事業の内容及びそれに要する経費を記載してください。
 3：謝金及び賃金については、その単価等が分かる資料を添付してください。
 4：国庫補助金は、税別となります。

(参考)

参画事業契約書

〇〇株式会社、▲▲株式会社、□□株式会社、3社間にて以下の通り契約する。

第1条 G F Pフラッグシップ輸出産地形成プロジェクトにおいて、協働で当事業を遂行する。

第2条 当事業の遂行にあたり、事業実施主体である〇〇を代表者とする。

〇年〇月〇日

農業生産法人 〇〇株式会社
代表取締役 〇〇 〇〇

株式会社▲▲果樹園
代表取締役 ▲▲ ▲

□□株式会社
代表取締役 □ □□

事業区分： (1) 都道府県版GFPの組織化による推進体制の構築
(2) 旗艦的な大ロット輸出産地のモデル構築
ア 生産方法の転換
イ 集荷、船積み方法の転換

(単位：円)

費目	細目	事業区分	販路開拓に 要する経費 は○を記載	経費の内容	単価 (税別)	数	小計(A) (税別)	税(B)	合計(A+B) (税込)
備品費 (根拠提出要)	-						0	0	0
	-						0	0	0
賃金等 (根拠提出要)	-						0	0	0
	-						0	0	0
事業費	会場借料						0	0	0
							0	0	0
	通信運搬費							0	0
								0	0
	借上料							0	0
								0	0
	印刷製本費							0	0
								0	0
	資料購入費							0	0
								0	0
	資機材費							0	0
								0	0
	消耗品費							0	0
								0	0
	ほ場管理費							0	0
							0	0	
改植等支援費							0	0	
							0	0	
情報発信費							0	0	
							0	0	
研修等参加費							0	0	
							0	0	
輸送・保管費							0	0	
							0	0	
旅費	委員旅費						0	0	0
							0	0	
	調査等旅費						0	0	
謝金 (根拠提出要)	-						0	0	0
	-						0	0	0
委託費 契約書(案)と根拠提出要 原則、事業費の1/2以内	-						0	0	0
	-						0	0	0
役務費	-						0	0	0
	-						0	0	0
雑役務費	手数料						0	0	0
							0	0	
	租税公課						0	0	
転換等助成費	-						0	0	0
	-						0	0	0
小計				(1) 都道府県版GFPの組織化による推進体制の構築	-	-	0	0	0
				(2) 旗艦的な大ロット輸出産地のモデル構築	-	-	0	0	0
				ア 生産方法の転換	-	-	0	0	0
				イ 集荷、船積み方法の転換	-	-	0	0	0
合計				(1) + (2)	-	-	0	0	0

※必要に応じて行を増やし記載してください。

※航空券や海外における費用に関しては、免税や税率が10%でない場合がありますのでご注意ください。

※事業が採択された際には、50万円以上の費用に関して、相見積もり又は随意契約の場合は理由書の提出が必要です。

合計のうち、販路開拓に要する経費				0	0	0
合計のうち、販路開拓に要する経費の割合(%)				-		

※合計のうち、販路開拓に要する経費の割合が30%を超える取組は、本事業の対象となりません。

委託先がある場合は、以下に記載してください。契約書（案）とお見積りなどの積算根拠の提出が必要です。

委託先名称	
住所	
電話	
委託する事業内容	
委託の必要性	
委託の金額	

別記様式第1号（実施規程 第7、第8、第9第11項 関係） 別添3 事業の成果目標及び実績（輸出額、輸出量、増加割合）

輸出される国・地域及び、品目・品名毎に実績及び目標の金額と量を記載してください。

量は、財務省貿易統計のHSコードに準ずる単位を使用してください。（例：MT、KG、KL、L等 ※ケースや箱は不可）

	品目	品名	対象国・地域名	輸出額							増加割合 (対令和3年度輸出額)							輸出量							量の単位 MT KG KL L等	増加割合 (輸出量)								
				【実績】 令和3年度 (円)	【実績】 (見込) 令和4年度 (円)	【実績】 令和4年度 (円)	【目標】 令和5年度 (円)	【実績】 令和5年度 (円)	【目標】 令和6年度 (円)	【実績】 令和6年度 (円)	【実績】 令和3年度	【実績】 (見込) 令和4年度 (%)	【実績】 令和4年度 (%)	【目標】 令和5年度 (%)	【実績】 令和5年度 (%)	【目標】 令和6年度 (%)	【実績】 令和6年度 (%)	【実績】 令和3年度 (量)	【実績】 (見込) 令和4年度 (量)	【実績】 令和4年度 (量)	【目標】 令和5年度 (量)	【実績】 令和5年度 (量)	【目標】 令和6年度 (量)	【実績】 令和6年度 (量)		【実績】 令和3年度	【実績】 (見込) 令和4年度 (%)	【実績】 令和4年度 (%)	【目標】 令和5年度 (%)	【実績】 令和5年度 (%)	【目標】 令和6年度 (%)	【実績】 令和6年度 (%)		
例	1	かんきつ	うんしゅうみかん	▲▲国	0	1,500,000	1,600,000	2,000,000	2,100,000	2,500,000	2,700,000		-	-	-	-	-	-	0	15,000	16,000	20,000	21,000	25,000	26,000	KG		-	-	-	-	-	-	
例	2	かんきつ	うんしゅうみかん	○○国	1,000,000	1,500,000	1,600,000	2,000,000	2,100,000	2,500,000	2,700,000		50.0	60.0	100.0	110.0	150.0	170.0	10,000	15,000	16,000	20,000	21,000	25,000	26,000	KG		50.0	60.0	100.0	110.0	150.0	160.0	
	1												#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!											#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!
	2												#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!											#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!
	3												#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!											#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!
		合計			0	0	0	0	0	0	0		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	0	0	0	0	0	0	0			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	

※全ての対象品目、国毎の目標を記載する必要がありますので、必要に応じて行を増やして記載してください。

※増加割合 = (増加後の数値 - 増加前の数値) / 増加前の数値 × 100

※令和3年度の輸出額実績が無い場合、増加割合欄に「-」を記載してください。

改植等実施（変更）計画総括表（確定報告）（果樹）
 【GFPフラッグシップ輸出産地形成プロジェクト】

都道府県名	事業実施主体名

果樹生産者グループ名	実施農家数 (戸)	優良品目・品種への転換						花粉専用樹の新植・改植事業		花粉専用樹の育成管理		小計 A+B+C+D+E 円
		改植		新植		うち、果樹未収益期間支援対象の改植、新植		実施面積 m ²	補助金 D 円	実施面積 m ²	補助金 E (対象面積 ×110円/ m ²) 円	
		実施面積 m ²	補助金 A 円	実施面積 m ²	補助金 B 円	実施面積 m ²	補助金 C (対象面積 ×220円/ m ²) 円					
							0				0	0
							0				0	0
							0				0	0
							0				0	0
							0				0	0
							0				0	0
							0				0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(注) 適宜行を追加して、記入すること。

改植等実施者別（変更）計画書（確定報告）（果樹）
【GFPフラッグシップ輸出産地形成プロジェクト】

都道府県名	事業実施主体名	果樹生産者グループ名

I 農業者（支援対象者）の概要

農業者（支援対象者）氏名	農業者（支援対象者）住所	果樹未収益期間支援事業対象者 支援事業申告（確定報告）欄	消費税の取扱い
			免税事業者 ・ 課税事業者（一般課税） ・ 課税事業者（簡易課税）

注1：「果樹未収益期間支援事業対象者申告（確定報告）欄」については、事業に参画した農業者が、下記Ⅱの表にあるとおり改植（移動改植を含み、補植改植を含まない。）、新植を実施する

（した）場合において、当該改植等の合計面積がおおむね2アール以上あることから果樹未収益期間支援事業を申請する（確定報告する）場合には、「○」を記入すること。

注2：「消費税の取扱い」の欄については、当該農業者について、該当する区分を○で囲むこと。課税事業者（一般課税）の場合、仕入れに係る消費税相当額を控除して補助金額を算出すること。

Ⅱ 改植事業の事業計画（実績）

園地番号	園地の所在地	転換元（現況） ^{(注)1}		転換先 ^{(注)1}		事業内容	実施面積 (受益面積) A	事業量 ^{(注)4}		事業費 ^{(注)5}	定額事業の 補助単価 B	補助金 A×B	事業 着工 (予定) 年月日	事業 完了 (予定) 年月日	備考 (注)7			
		品目	品種名	品目 ^{(注)2}	品種名			本数	植栽密度									
						優良品目・品種 への転換等	(改植)	m ²		円	円/m ²	0円						
							(新植)	m ²		円	円/m ²	0円						
						果樹未収益期間支援事業対象の改植、 新植 ^{(注)6}		m ²		円	円/m ²	0円						
小 計												0円						
						優良品目・品種 への転換等	(改植)	m ²		円	円/m ²	0円						
							(新植)	m ²		円	円/m ²	0円						
						果樹未収益期間支援事業対象の改植、 新植 ^{(注)6}		m ²		円	円/m ²	0円						
小 計												0円						
合 計						園地数 ^{(注)3}	実施面積 (受益面積)	①定額事業の事業費 (単価×面積 を記入)		補助金								
						優良品目・品種 への転換等	(改植)	園地]	0 m ²								円	0円
							(新植)	園地]	0 m ²								円	0円
						果樹未収益期間支援事業対象 の改植、新植		園地]	0 m ²								円	0円
				合 計				円	0円									

注1：「転換元（現況）」、「転換先」、の欄については、優良品目・品種への転換を実施する場合には、「転換元（現況）」、「転換先」の欄にそれぞれの品目及び品種を記入すること。なお、省力樹形に該当する場合は「省力

樹形」とあわせて記入すること。

注2：なお、品目を記入する場合、うんしゅうみかんでは、極早生、早生、普通、根域制限栽培のいずれかを、りんごでは、普通栽培、わい化栽培、新しい化栽培、超高密植栽培、朝日ロンバス方式、V字ジョイント栽培のいずれか

を、ぶどうでは、普通栽培、垣根栽培、根域制限栽培のいずれかを、かきでは普通栽培、ジョイント栽培、V字ジョイント栽培のいずれかを記入すること。

注3：また、同一農業者において、転換元の品種と同一の品種を他の園地に植栽（改植）することは、同一品種への改植と見なされることからこれも補助対象外となることに留意すること。

注4：「園地数」の欄の[]書には、本事業により整備する（した）園地数を記入すること。

注5：「事業量」の欄については、優良品目・品種への転換（改植・新植）を実施する場合は、植栽する苗木の本数及び植栽密度（本/10a）を記入するなど、事業内容に応じた事業量を記入すること。また、単純な更新については

補助対象外であることに留意すること。なお、植栽密度については、植栽密度の設定表における植栽密度の下限（本/10a）に留意すること。

注6：事業費については、仕入れに係る消費税がある場合には、同税額込み（除税額込み）の事業費を記入すること。

注7：「果樹未収益期間支援事業の対象となる改植、新植」の「実施面積（受益面積）」の欄には、同年度内に完了する改植（移動改植を含み、補植改植を含まない。）、新植の面積がおおむね2アール以上の場合に記入すること。

「事業費」の欄については、実施面積（受益面積）に4年間×助成単価55円/m²を乗じて得た額を記入すること。

注8：「備考」欄には、仕入れに係る消費税等相当額を減額した場合（課税業者（一般）の場合）には「除税額〇〇円 うち補助金〇〇円」を、同税額がない場合には「該当なし」と、同税額が明らかでない場合には「含税額」とそれ

ぞれ記入するとともに、同税額を減額した場合には小計及び合計の欄の備考の欄に合計額（「除税額〇〇円 うち補助金〇〇円」）を記入すること。

Ⅲ 花粉専用樹の新植・改植事業の事業計画（実績）

1 花粉の供給を必要とする品種

品目名	品種名	現在の栽培面積 (a) (年度)	事業実施後 5年目の新 植・改植面積 (年度)	花粉の 目標数量 (g)		備考
					うち本事業での生産量	
計						
計						
合計						

注1：現在の栽培面積の欄は、事業を実施する年度の面積を記入すること。適宜、行等を追加して記入すること。

2 花粉の供給計画

ほ場の設置場所	ほ場面積 (a)	管理主体名	品目	品種	品種登録の有無	花粉の生産量 (g)			備考
						事業実施後 ○年目	事業実施後○ 年目	事業実施後5 年目	
						(年度)	(年度)	(年度)	

注1：「設置場所」の欄は、花粉生産ほを設置する市町村名・地域名を、特定の機関の敷地内に設置する場合には機関名を記入すること。

管理主体名は、花粉生産ほに関する責任者名（又は管理する機関名）を記入すること。

生産する花粉が登録品種であれば、「品種登録の有無」の欄に「有」を記入すること。

登録品種の場合、備考欄に育成者の許諾を受けるなど増殖に問題がない旨を記入すること。

適宜、行等を追加して記入すること。

3 花粉生産ほの管理・作業の内容

ほ場の設置場所	品目・品種	作業内容			備考
		事業実施後〇年目	事業実施後〇年目	事業実施後〇年目	

注1：花粉生産期間中における主な管理・作業等について記入すること。
 年ごとの管理・作業等が分かるように記入すること。
 適宜、行を追加して記入すること。

4 新植・改植（りんご等）の内容

取組内容 (新植又は改植)	導入品目 (品種)	(改植の場合) 現況の品目 (品種)	園地の 所在地	管理 主体	計画面積 (受益面 積)	事業量 (植栽する 苗木の本数)	助成単価	補助金	事業着工 (予定) 年月日	事業完了 (予定) 年月日	備考
合 計							円/m ²	円			

5 花粉専用樹の育成管理

対象品目名	対象面積 (新植・改植面 積を上限)	補助金額 (対象面積×11万 円/10a)	備 考
	ha	円	
合計			

IV 添付資料

- (1) 事業実施園の配置図
- (2) 見積書（契約書）等
- (3) その他事業実施主体及び事業実施者が必要と認める資料

別記様式第1号 参考別添1（別紙1（4）イ 関係） 確認計画（事業実施主体用） 【GFPフラッグシップ輸出産地形成プロジェクト】

茶生産者 グループ名	対象 生産者数	確認の時期		確認体制（関係機関の協力体制含む）		確認方法		備考
		事前確認	事後確認	事前確認	事後確認	事前確認	事後確認	

※新植の場合は、「事前確認」の欄は「－」とする。

別記様式第2号（実施規程 第7第4項（5）ア 関係）

補助金支払確認書

番 号
年 月 日

株式会社 J T B
代表取締役 社長執行役員
山北 栄二郎 殿

事業実施主体名
氏名

GFPフラッグシップ輸出産地形成プロジェクト実施規程の第7第4項（5）アの規定に基づき、別添のとおり、リース事業者から受領した〇〇〇〇の写しを提出します。

（注）別添として、リース事業者からの領収書又はこれに類する書類の写しを添付してください。

別記様式第3号（実施規程 第7第4項（6）イ 関係）

リース物件管理台帳

事業実施主体名

設置場所の名称			事業実施年度			年度		農林水産省所管補助金名								
事業種類	事業の内容					工期		経費の配分				処分制限期間		処分の状況		摘要
	事業細目	事業実施主体	設備・機器の名称	機能	規模・能力	着工年月日	竣工年月日	総事業費	負担区分			リース期間	処分制限年月日	承認年月日	処分の内容	
									国庫補助金	事業実施主体	その他					
								円	円	円	円					
	計															
	計															
	合計															

注1：処分制限年月日欄には、処分制限の終期を記入すること。

注2：処分の内容欄には、譲渡、交換、貸付け、担保提供等別に記入すること。

注3：摘要欄には、譲渡先、交換先、貸付け先及び抵当権等の設定権者の名称又は補助金返還額を記入すること。

注4：この書式により難い場合には、処分制限期間欄及び処分の状況欄を含む他の書式をもってリース物件管理台帳に代えることができる。

別記様式第4号（実施規程 第9第1項（1）、（5） 関係）

GFPフラッグシップ輸出産地形成プロジェクト補助金交付申請書

番 号
年 月 日

株式会社JTB
代表取締役 社長執行役員
山北 栄二郎 殿

事業実施主体名
氏名

令和〇年度において、下記のとおり事業を実施したいので、GFPフラッグシップ輸出産地形成プロジェクト実施規程第9第1項（1）の規定に基づき、補助金〇〇〇〇円の交付を申請する。

区 分	補 助 金	備 考
GFPフラッグシップ輸出産地形成プロジェクト	円	
（1）都道府県版GFPの組織化による推進体制の構築	円	
（2）旗艦的な大ロット輸出産地のモデル構築	円	
計	円	

記

- I 事業の目的
「事業実施計画書のとおり」
- II 事業の内容及び計画
「事業実施計画書のとおり」

Ⅲ 経費の配分及び負担区分

区 分	補助事業に要する 経費 (A) + (B)	負担区分		備 考
		国 庫 補助金 (A)	その他 (B)	
GFPフラッグ シップ輸出産地形 成プロジェクト	円	円	円	
(1) 都道府県版 GFPの組織化に よる推進体制の構 築	円	円	円	
(2) 旗艦的な大 ロット輸出産地の モデル構築	円	円	円	
合 計	円	円	円	

(注) 備考欄には、補助事業者ごとに、消費税仕入控除税額を減額した場合は「減額した金額〇〇〇円」を、同税額がない場合には「該当なし」を、同税額が明らかでない場合には「含税額」をそれぞれ記入すること。「該当なし」の場合は、以下のうち該当するものにチェックを入れること。

- 免税事業者
- 簡易課税制度の適用を受ける者
- 地方公共団体の一般会計
- 地方公共団体の特別会計、消費税法別表第三に掲げる法人（公共法人、公益法人等）又は人格のない社団・財団であって、当該事業年度における補助金等の特定収入割合が5%超となることが確実に見込まれるもの

Ⅳ 補助事業の完了予定年月日 令和〇〇年〇〇月〇〇日

Ⅴ 添付書類
1 事業実施計画書

別記様式第5号（実施規程 第9第1項（5） 関係）

令和〇〇年度GFPフラッグシップ輸出産地形成プロジェクト交付決定前着手届

番 号
年 月 日

株式会社JTB
代表取締役 社長執行役員
山北 栄二郎 殿

事業実施主体名
氏名

GFPフラッグシップ輸出産地形成プロジェクト実施規程第9第1項（5）の規定に基づき、事業実施計画に基づく下表の事業について、下記条件を了承の上、交付決定前に着手することを届け出ます。

記

- 1 交付決定を受けるまでの期間内に、天災地変によって実施した事業に損失を生じた場合、当該損失は、事業実施主体が負担するものとする。
- 2 交付決定を受けた補助金額が交付申請額又は交付申請予定額に達しない場合においても、異議がないこと。
- 3 事業に着手後、交付決定を受けるまでの期間内においては、計画変更は行わないこと。

事業内容	事業量	事業費	着手予定年月日	完了予定年月日	理由

別記様式第6号（実施規程 第9第1項（6） 関係）

GFPフラッグシップ輸出産地形成プロジェクト交付申請取下書

番 号
年 月 日

株式会社JTB
代表取締役 社長執行役員
山北 栄二郎 殿

事業実施主体名
氏名

令和〇年度の事業について、下記のとおり交付申請を取り下げたいので、GFPフラッグシップ輸出産地形成プロジェクト実施規程第9第1項（6）の規定に基づき申請する。

記

- 1 補助事業の交付申請を取り下げる理由
- 2 特記事項

契約に係る指名停止等に関する申立書

番 号
年 月 日

事業実施主体 殿

所在地
商号又は名称
代表者氏名

当社は、貴殿発注の〇〇契約の競争参加に当たって、当該契約の履行地域について、現在、農林水産省の機関から〇〇契約に係る指名停止の措置等を受けていないことを申し立てます。
また、この申立てが虚偽であることにより当方が不利益を被ることとなっても、異議は一切申し立てません。

（注1）〇〇には、「工事請負」、「物品・役務」のいずれかを記載すること。

（注2）この申立書において、農林水産省の機関とは、本省内局及び外局、施設等機関、地方支分部局並びに農林水産技術会議事務局筑波産学連携支援センターをいう。ただし、北海道にあっては国土交通省北海道開発局、沖縄県にあっては内閣府沖縄総合事務局を含む。

（注3）「指名停止の措置等」には、指名停止の措置のほか、公正取引委員会から私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律に基づく排除措置命令又は課徴金納付命令を受けた者であって、その命令の同一事案において他者が農林水産省の機関から履行地域における指名停止措置を受けた場合の当該公正取引委員会からの命令を含む。なお、当該命令を受けた日から、他者が受けた指名停止の期間を考慮した妥当な期間を経過した場合は、この限りでない。

別記様式第8号（実施規程 第9第4項、第5項 関係）

GFPフラッグシップ輸出産地形成プロジェクト事業計画変更承認申請書

番 号
年 月 日

株式会社JTB
代表取締役 社長執行役員
山北 栄二郎 殿

事業実施主体名
氏名

令和〇年〇〇月〇〇日付け〇〇第〇〇〇号により補助金の交付決定の通知があった事業について、下記のとおり変更したいので、GFPフラッグシップ輸出産地形成プロジェクト実施規程第9第4項（第9第5項）の規定に基づき申請する。

記

（注1） 記の記載要領は、別記様式第1号別添1の記の様式に準ずるものとする。この場合において、同様式中「事業概要」を「変更の理由」と書き換え、補助金等の交付の決定により通知された事業の内容及び経費の配分と変更後の事業の内容及び経費の配分とを容易に比較対照できるように変更部分を二段書とし、変更前を括弧書きで上段に記載すること。ただし、事業内容のうち当該変更の対象外となるものについては、省略する。なお、添付書類については、交付申請書に添付したものに変更があった場合についてのみ添付すること。

（注2） 補助事業を中止し、又は廃止しようとする場合にあっては、「事業変更承認申請書」を「事業中止（廃止）承認申請書」と、「変更」を「中止（廃止）」と置き換えること。

別記様式第9号（実施規程 第9第7項、第8項 関係）

GFPフラッグシップ輸出産地形成プロジェクト補助金概算払請求書

番 号
年 月 日

株式会社JTB
代表取締役 社長執行役員
山北 栄二郎 殿

事業実施主体名
氏名

令和〇年〇〇月〇〇日付け〇〇第〇〇〇号により補助金の交付決定の通知があった事業について、GFPフラッグシップ輸出産地形成プロジェクト実施規程第9第7項の規定に基づき、概算払の請求をしたいので、下記により金〇〇円を概算払によって交付されたく請求する。
また、併せて、令和〇〇年〇〇月〇〇日現在における遂行状況を下記のとおり報告する。

記

令和〇年〇月〇日現在

区 分	総事業費	(A) 国庫 補助金	(B) 既受領額		遂行状 況報告 〇月〇 日現在 の出来 高	(C) 今回請求額		(A)-((B)+(C)) 残額		事業完了 予定年月 日	備 考
			金額	出来高		金額	〇月〇 日現在 の予定 出来高	金額	〇月〇 日現在 の予定 出来高		
	円	円	円	%	%	円	%	円	%		
計											

(注1) 補助事業等により取得した財産等の確認を必要とする場合は、明細書を添付すること。

(注2) 補助事業等の実態に応じて、必要な事項を追加することができる。

(注3) 「区分」の欄には、別記様式第4号の記の「Ⅲ 経費の配分及び負担区分」に記載された事項について記載すること。

GFPフラッグシップ輸出産地形成プロジェクト事業遂行状況報告書

番 号
年 月 日

株式会社JTB
代表取締役 社長執行役員
山北 栄二郎 殿

事業実施主体名
氏名

令和〇年〇〇月〇〇日付け〇〇第〇〇〇〇号により補助金の交付決定の通知があった事業について、GFPフラッグシップ輸出産地形成プロジェクト実施規程第9第8項の規定に基づき、その遂行状況を下記のとおり報告する。

記

区 分	総事業費	事業の遂行状況				備 考
		令和〇年〇月〇日までに完了したもの		令和〇年〇月〇日以降に実施するもの		
		事 業 費	出来高比率	事 業 費	事業完了 予定年月日	
	円	円	%	円		

（注1） 区分の欄には、別記様式第4号の記の「Ⅲ 経費の配分及び負担区分」に記載された事項について記載すること。

（注2） 「事業費」の欄には、事業の出来高を金額に換算した額を記載すること。

GFPフラッグシップ輸出産地形成プロジェクト事業実績報告書

番 号
年 月 日

株式会社 J T B
代表取締役 社長執行役員
山北 栄二郎 殿

事業実施主体名
氏名

令和〇年〇月〇日付け第〇〇〇〇号により補助金の交付決定の通知があった事業について、下記のとおり実施したので、GFPフラッグシップ輸出産地形成プロジェクト実施規程第9第9項（1）の規定により、その実績を報告する。
また、併せて精算額として〇〇〇円の交付を請求する。

記

I 事業の目的

II 事業の内容及び実績

別添1、別添2及び別添3のとおり。

※数値については、報告時に把握可能な数値を記載すること。

III 経費の配分及び負担区分

区 分	補助事業に要した 経費 (A+B)	負 担 区 分		備 考
		国 庫 補助金 (A)	事業者負担 (B)	
GFPフラッグシップ 輸出産地形成プロジェ クト	円	円	円	
（1）都道府県版GFP の組織化による推進 体制の構築	円	円	円	
（2）旗艦的な大ロッ ト輸出産地のモデル構 築	円	円	円	

(注) 備考欄には、消費税仕入控除税額を減額した場合は「減額した金額〇〇〇円」を、同税額がない場合は「該当なし」を、同税額が明らかでない場合には「含税額」をそれぞれ記入すること。

IV 事業の完了年月日

令和〇〇年〇〇月〇〇日

V 収支精算

(1) 収入の部

区 分	本年度精算額	本年度予算額	比 較 増 減		備考
			増	減	
1 国庫補助金	円	円	円	円	
2 その他	円	円	円	円	
合 計					

(2) 支出の部

区 分	本年度精算額	本年度予算額	比 較 増 減		備考
			増	減	
	円	円	円	円	
合 計					

(注) 「区分」の欄には、別記様式第4号の記の「Ⅲ 経費の配分及び負担区分」に記載された事項について記載すること。

VI 添付書類

- 1 この実績報告書は、当該報告に係る補助金交付申請書ごとに作成すること。
- 2 添付書類については、実施報告書別添、所定の経費明細書、領収書貼台紙に請求書、振り込み証明等を貼ったもの、及びその他必要書類を提出すること。このほか、交付申請書又は変更等承認申請書に添付したものから変更があったものについては、必要書類を添付すること。
- 3 実績報告書の提出に際し、請求書により額の確定を行った経費については、1ヶ月を目途に事業者への支払いを励行するものとする。なお、支払いが完了した場合には、別途報告するものとする。

1 活動内容

（当該事業により取り組んだ活動内容を記載するとともに、翌年度以降、事業効果の発現及び輸出促進、増加に向けた取組について記載してください。写真などを添付し、具体的な内容がわかるように記載してください。）

2 実施体制

（事業実施体制を図示してください。連携、委託を行った団体がある場合はその名称、概要及び事務処理体系についても記載してください。）

3 実施スケジュール

(実施した内容毎に記載してください。)

4 事業の成果目標と成果

(事業前と事業後の成果を具体的に記載いただくとともに、数値に関しては、別添2に記載してください。事業成果の発現を複数年にわたり設定している場合は、進捗状況等に記載してください。)

5 評価及び要因分析

(成果目標の達成状況を評価し、目標を達成していない場合は、その要因と課題を詳細に分析してください。)

6 事業終了の活動方針

(評価と要因分析を踏まえた翌年度以降の活動方針について、具体的に記載してください。)

7 今後の目標

別記様式第11号（実施規程 第7、第8、第9第11項 関係） 別添2

4 事業の成果目標と成果（輸出額、輸出量、増加割合）

現状の実績等を以下に記載してください。

量に関しては、財務省貿易統計のHSコードに準ずる単位を使用してください。（例：MT、KG、KL、L等 ※ケースや箱は不可）

※【目標】の欄には、申請時に設定した目標を記載してください。

	品目	品名	対象国・地域名	輸出額						増加割合 (対令和3年度輸出額)						輸出量						量の単位 MT KG KL L等	増加割合 (輸出量)												
				【実績】 令和3年度 (円)	【実績】 (見込) 令和4年度 (円)	【実績】 令和4年度 (円)	【目標】 令和5年度 (円)	【実績】 令和5年度 (円)	【目標】 令和6年度 (円)	【実績】 令和6年度 (円)	【実績】 令和3年度	【実績】 (見込) 令和4年度 (%)	【実績】 令和4年度 (%)	【目標】 令和5年度 (%)	【実績】 令和5年度 (%)	【目標】 令和6年度 (%)	【実績】 令和6年度 (%)	【実績】 令和3年度 (量)	【実績】 (見込) 令和4年度 (量)	【実績】 令和4年度 (量)	【目標】 令和5年度 (量)		【実績】 令和5年度 (量)	【目標】 令和6年度 (量)	【実績】 令和6年度 (量)	【実績】 令和3年度	【実績】 (見込) 令和4年度 (%)	【実績】 令和4年度 (%)	【目標】 令和5年度 (%)	【実績】 令和5年度 (%)	【目標】 令和6年度 (%)	【実績】 令和6年度 (%)			
例	1	かんきつ	うんしゅうみかん	▲▲国	0	1,500,000	1,600,000	2,000,000	2,100,000	2,500,000	2,700,000							0	15,000	16,000	20,000	21,000	25,000	26,000	KG										
例	2	かんきつ	うんしゅうみかん	○○国	1,000,000	1,500,000	1,600,000	2,000,000	2,100,000	2,500,000	2,700,000		50.0	60.0	100.0	110.0	150.0	170.0	10,000	15,000	16,000	20,000	21,000	25,000	26,000	KG		50.0	60.0	100.0	110.0	150.0	160.0		
	1												#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!											#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		
	2												#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!											#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		
	3												#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!											#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		
		合計			0	0	0	0	0	0	0							0	0	0	0	0	0	0											

※全ての対象品目、国毎の目標を記載する必要がありますので、必要に応じて行を増やして記載してください。

※増加割合＝（増加後の数値－増加前の数値）/増加前の数値 ×100

※令和3年度の輸出額実績が無い場合、増加割合欄に「-」を記載してください。

別記様式第11号（実施規程 第7、第8、第9第11項 関係） 別添3-1（所得向上効果検証）

GFPフラッグシップ輸出産地形成プロジェクト

●所得向上効果の把握・検証①

【損益計算書①】※1

事業実施主体名：〇〇協議会（〇〇県）（品目：〇〇）

参画事業者である株式会社〇〇やJA〇〇の構成員〇〇

科目	令和3年度 (円) A		令和4年度 (円) B		令和5年度 (円) C		R6年度 (円) D		令和6年度と 令和3年度の比較 【増減額】 (円) E (D-A)		令和6年度と 令和3年度の比較 【増減率】 (%) F (D/A)		備考 (Eの増減要因など) ※2
売上高									0	0		#DIV/0!	輸出業務の拡大による増
売上原価									0	0	#DIV/0!	#DIV/0!	輸出業務の拡大による増
売上総利益									0	0		#DIV/0!	輸出業務の拡大による増
販売費および一般管理費									0	0			
人件費									0	0			輸出業務の拡大により、 ・従業員2人増 ・人件費単価の増
役員報酬									0	0	#DIV/0!		詳細は、別記様式第11号別添3-3に記載 ※3
給与手当									0	0	#DIV/0!		詳細は、別記様式第11号別添3-3に記載 ※3
賞与									0	0	#DIV/0!		詳細は、別記様式第11号別添3-3に記載 ※3
減価償却費									0	0	#DIV/0!		
その他販売管理費									0	0	#DIV/0!	#DIV/0!	
営業利益									0	0		#DIV/0!	輸出業務の拡大による増
経常利益									0	0		#DIV/0!	輸出業務の拡大による増
税引前当期純利益									0	0		#DIV/0!	
当期純利益									0	0		#DIV/0!	

【損益計算書②】※1

事業実施主体名：〇〇協議会（〇〇県）（品目：〇〇）

参画事業者であるJA〇〇の構成員〇〇 等

科目	令和3年度 (円) A		令和4年度 (円) B		令和5年度 (円) C		R6年度 (円) D		令和6年度と 令和3年度の比較 【増減額】 (円) E (D-A)		令和6年度と 令和3年度の比較 【増減率】 (%) F (D/A)		備考 (Eの増減要因など) ※2
収入									0	0		#DIV/0!	輸出業務の拡大による増
費用									0	0		#DIV/0!	
利益									0	0		#DIV/0!	

(記載要領)・・・黄色セルに金額等を記載して下さい。

※1 代表的な参画事業者とその構成員について記載してください。

法人として作成している損益計算書がある場合は【損益計算書①】に転記してください。【損益計算書①】を記載できない参画事業者やその構成員は【損益計算書】②を記載してください。

※2 備考欄に増減要因を項目ごとに詳細に記載してください。その他に特記事項がある場合も記載してください。（増減要因が輸出業務に関する場合は必須）

※3 役員報酬、給与手当及び賞与の詳細は、別記様式第11号別添3-3に記載してください。

GFPフラッグシップ輸出産地形成プロジェクト
 ●所得向上効果の把握・検証②

【輸出に取り組むことによる出荷単価の向上による農業経営の変化】

事業実施主体名：〇〇協会（〇〇県）（品目：〇〇）

参画事業者：JA〇〇

事業者等名称：平均的な規模の経営体

	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	販売額 (円)	販売量 (kg)	平均出荷 単価 (円/kg)	販売額 (円)	販売量 (kg)	平均出荷 単価 (円/kg)	販売額 (円)	販売量 (kg)	平均出荷 単価 (円/kg)	販売額 (円)	販売量 (kg)	平均出荷 単価 (円/kg)
① 国内向け			#DIV/0!			#DIV/0!			#DIV/0!			#DIV/0!
② 輸出向け (※1)			#DIV/0!			#DIV/0!			#DIV/0!			#DIV/0!
③ 合計	0	0	#DIV/0!	0	0	#DIV/0!	0	0	#DIV/0!	0	0	#DIV/0!

	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和6年度－令和3年度 【増減額】		令和6年度／令和3年度 【増減率(%)】	
	輸出に 取り組む 経営体 A	国内出荷 のみの 経営体 B	輸出に 取り組む 経営体	国内出荷 のみの 経営体	輸出に 取り組む 経営体	国内出荷 のみの 経営体	輸出に 取り組む 経営体 C	国内出荷 のみの 経営体 D	輸出に 取り組む 経営体 C-A	国内出荷 のみの 経営体 D-B	輸出に 取り組む 経営体 C/A	国内出荷 のみの 経営体 D/B
④ 平均出荷単価 (円/kg)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
⑤ 収量 (kg/10a) (※2)											#DIV/0!	#DIV/0!
⑥ 収入 (円/10a) (④×⑤)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
⑦ 経費 (円) (※2)											#DIV/0!	#DIV/0!
⑧ 10aあたりの所得 (円) (⑥-⑦)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
⑨ 所得率 (%) (⑧/⑥)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
⑩ 年間平均所得 (円) (③ (販売量) ÷ ⑤ × ⑧) (※3)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

備考 (※3)

⑤⑦は、〇〇県経営指標 (〇年〇月) から引用

(記載要領) 黄色部分に数値等を記載してください。

- ※1 記載例では、平均的な規模の経営体の出荷量の2割を輸出するとして計算（税抜き）しています。実態に応じて、全体の販売額・販売量に占める輸出向け販売額・販売量を記載してください。
- ※2 対象品目の収量及び経費については、県等の既存の経営指標等を引用（税抜き）して記載して頂いても結構です。
- ※3 ※2で経営指標等から引用した場合は、備考に引用した経営指標等名称を記載してください。

	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和6年度－令和3年度 【増減面積】		令和6年度／令和3年度 【増減率(%)】	
	輸出に 取り組む 経営体 (\approx) A	国内出荷 のみの 経営体 (\approx) B	輸出に 取り組む 経営体 (\approx)	国内出荷 のみの 経営体 (\approx)	輸出に 取り組む 経営体 (\approx)	国内出荷 のみの 経営体 (\approx)	輸出に 取り組む 経営体 (\approx) C	国内出荷 のみの 経営体 (\approx) D	輸出に 取り組む 経営体 (\approx) C-A	国内出荷 のみの 経営体 (\approx) D-B	輸出に 取り組む 経営体 (%) C/A	国内出荷 のみの 経営体 (%) D/B
経営体別の平均栽培面積 (\approx)									0	0	#DIV/0!	#DIV/0!

※本事業の参画事業者（JA〇〇 △△部会等）において、輸出に取り組んでいる生産者の平均栽培面積と、国内向けのみを生産を行っている生産者の平均栽培面積をそれぞれ算出してください。

【参考】上記の参画事業者の栽培面積の推移

参画事業者：JA〇〇	令和3年度 (\approx) A	令和4年度 (\approx) B	令和5年度 (\approx) C	令和6年度 (\approx) D	増減面積 (\approx) D-A	増減率 (%) D/A	備考
品目：〇〇							
栽培面積 (\approx)	80	85	90	95	15	118.8%	
うち輸出に対応した栽培面積 (\approx)	0	10	20	30	30	#DIV/0!	本事業により輸出向け栽培面積を拡大

(記載要領) 黄色部分に数値等を記載してください。

- ※本事業で対象とした品目の栽培面積の推移を記載してください。
- ※上記の参画事業者以外で、本事業に取り組むことにより輸出産地形成を行った者がある場合、本様式を用いてそれぞれ作成してください。

GFPフラッグシップ輸出産地形成プロジェクト
 ●所得向上効果の把握・検証③

【役員報酬、従業員給与の推移】

事業実施主体名：〇〇協議会（〇〇県）（品目：〇〇）
 参画事業者：JA〇〇
 事業者等名称：〇〇

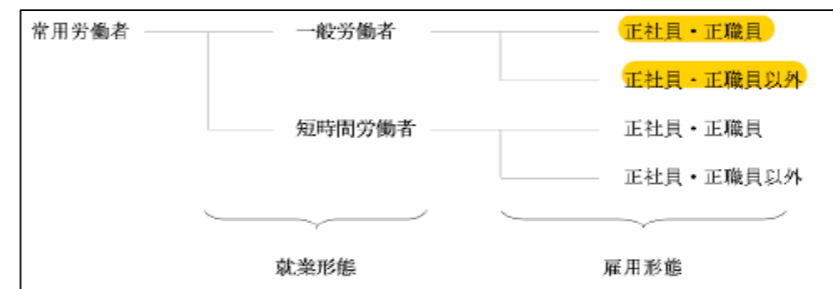
合計	令和3年度 A	単価	令和4年度 B	単価	令和5年度 C	単価	令和6年度 D	単価	令和6年度と 令和3年度の比較 【増減額】 (千円) E (D-A)	令和6年度と 令和3年度の比較 【増減率】 (%) F (D/A)	備考 (Dの増減要因など) ※3
役員報酬※1、2		千円		千円		千円		千円	0	#DIV/0!	
役員報酬支払対象人数		人		人		人		人	0	#DIV/0!	令和4年度末、1名定年退職
1人当たり役員報酬※1、2	#DIV/0!	千円	#DIV/0!	千円	#DIV/0!	千円	#DIV/0!	千円	#DIV/0!	#DIV/0!	令和6年度、輸出業務拡大による増
給与手当（給与所得）※1、2	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	#DIV/0!	輸出業務の拡大により、 ・正社員1人増 ・非正社員1人増 ・人件費単価の増
うち正社員※1、2		千円		千円		千円		千円	0	#DIV/0!	
うち非正社員※1、2		千円		千円		千円		千円	0	#DIV/0!	
給与手当支払対象人数		人		人		人		人	0	#DIV/0!	
うち正社員※1、2		人		人		人		人	0	#DIV/0!	
うち非正社員※1、2		人		人		人		人	0	#DIV/0!	
正社員1人当たり給与手当（年間平均）※1、2	#DIV/0!	千円	#DIV/0!	千円	#DIV/0!	千円	#DIV/0!	千円	#DIV/0!	#DIV/0!	・役職に応じて●●円程度増額 ・令和6年度：ベースアップ●%（令和5年度比） ・令和6年度：定期昇給●%（令和5年度比）
非正社員1人当たり給与手当（年間平均）※1、2	#DIV/0!	千円	#DIV/0!	千円	#DIV/0!	千円	#DIV/0!	千円	#DIV/0!	#DIV/0!	役職に応じて●●円程度増額
賞与（給与所得）※1、2	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	#DIV/0!	輸出業務の拡大により、 ・正社員1人増 ・非正社員1人増 ・人件費単価の増
うち正社員への賞与総額※1、2		千円		千円		千円		千円		#DIV/0!	
うち非正社員への賞与総額※1、2		千円		千円		千円		千円		#DIV/0!	
賞与支払対象人数（正社員）		人		人		人		人	0	#DIV/0!	
賞与支払対象人数（非正社員）		人		人		人		人	0	#DIV/0!	
正社員の1人当たり賞与（年間平均）※1、2	#DIV/0!	千円	#DIV/0!	千円	#DIV/0!	千円	#DIV/0!	千円	#DIV/0!	#DIV/0!	
非正社員の1人当たり賞与（年間平均）※1、2	#DIV/0!	千円	#DIV/0!	千円	#DIV/0!	千円	#DIV/0!	千円	#DIV/0!	#DIV/0!	
正社員1人当たり給与・賞与（年間平均）※1、2	#DIV/0!	千円	#DIV/0!	千円	#DIV/0!	千円	#DIV/0!	千円	#DIV/0!	#DIV/0!	
非正社員1人当たり給与・賞与（年間平均）※1、2	#DIV/0!	千円	#DIV/0!	千円	#DIV/0!	千円	#DIV/0!	千円	#DIV/0!	#DIV/0!	

（記載要領）

＜調査対象＞・・・上記様式には、下記の者について記載してください。
 「正社員」欄・・・＜用語の定義＞の一般労働者のうち、正社員・正職員について記載してください。
 「非正社員」欄・・・＜用語の定義＞の一般労働者のうち、正社員・正職員以外について記載してください。

（参考）「令和3年度賃金構造基本統計調査（厚生労働省）」：主な用語の定義
<https://www.mhlw.go.jp/toukei/itiran/roudou/chingin/kouzou/z2021/yougo.html>

＜用語の定義＞
 「常用労働者」
 次のいずれかに該当する労働者をいう。
 1 期間を定めずに雇われている労働者
 2 1か月以上の期間を定めて雇われている労働者
 「就業形態」
 常用労働者を「一般労働者」と「短時間労働者」に区分して
 「一般労働者」とは、「短時間労働者」以外の者をいう。
 「短時間労働者」とは、同一事業所の一般の労働者より1日の所定労働時間が短い又は1日の所定労働時間が同じでも1週の所定労働日数が少ない労働者をいう。
 「雇用形態」
 常用労働者を「正社員・正職員」と「正社員・正職員以外」に区分している。
 「正社員・正職員」とは、事業所で正社員、正職員とする者をいい、「正社員・正職員以外」とは、正社員・正職員に該当しない者をいう。



※1 黄色セルに金額等を記載して下さい。（事業者等の法人等の実績を記載してください。）
 ※2 事業実施者から役員・正社員・非正社員に支給される所得控除後の給与所得の額を記載してください。【収入金額(源泉徴収される前の金額) - 給与所得控除額 = 給与所得の金額】
 ※3 備考欄に増減要因を項目ごとに詳細に記載してください。その他に特記事項がある場合も記載してください。（増減要因が輸出業務に関する場合は必須）
 (例) 給与が高いベテラン社員の定年退職が続いたため、従業員一人当たりの平均給与金額が下がっているが、輸出を開始した令和〇年以降、毎年、従業員の給与を〇%ベースアップしている 等

GFPフラッグシップ輸出産地形成プロジェクト

●所得向上効果の把握・検証④

【仕入単価、販売単価等の推移】

事業実施主体名：〇〇協議会（〇〇県）（品目：〇〇）

参画事業者：JA〇〇

合計	令和3年度	単価	令和4年度	単価	令和5年度	単価	令和6年度	単価	令和6年度と 令和3年度の比較	令和6年度と 令和3年度の比較	備考 (Dの増減要因など) ※1
	(円) A		(円) B		(円) C		(円) D		【増減額】 (円) D-A	【増減率】 (%) D/A	
※2【選択式】											
自社販売単価の推移											
<国内向け>											
【品目】かんきつ（平均）※3								0	#DIV/0!	単価設定の考え方：●●	
【品目】りんご（平均）※3								0	#DIV/0!	単価設定の考え方：●●	
<輸出向け>								0			
【品目】かんきつ（タイ向け）（平均）※3								0	#DIV/0!	単価設定の考え方：●●	
【品目】かんきつ（アメリカ向け）（平均）※3								0	#DIV/0!	単価設定の考え方：●●	
【品目】りんご（台湾向け）（平均）※3								0	#DIV/0!	単価設定の考え方：●●	
【品目】りんご（アメリカ向け）（平均）※3								0	#DIV/0!	単価設定の考え方：●●	

（記載要領）

黄色セルに金額等を記載して下さい。

※1 備考欄に増減要因を項目ごとに詳細に記載してください。その他に特記事項がある場合も記載してください。（増減要因が輸出業務に関する場合は必須）

※2【選択式】

- ・JA等が生産者から仕入れている場合（買取販売を行っている場合）は、「仕入単価（生産者への支払額）の推移」を選択
- ・JA等が生産者から販売委託を受けている場合は、「販売委託された品目の販売額（農家手取り単価）の推移」を選択
- ・生産者自ら販売している場合は、「自社販売単価の推移」を選択してください。

※3 仕入れ先や販売先ごとではなく、国内向け、輸出向けのそれぞれ平均単価を記載してください。

※4 記載は例なので、品種毎に記載いただいても結構です。

GFPフラッグシップ輸出産地形成プロジェクト消費税仕入控除税額報告書

番 号
年 月 日

株式会社JTB
代表取締役 社長執行役員
山北 栄二郎 殿

事業実施主体名
氏名

令和〇年〇月〇日付け第〇〇〇〇号により補助金の交付決定の通知があった事業について、GFPフラッグシップ輸出産地形成プロジェクト実施規程第9第9項（3）の規定に基づき、下記のとおり報告する。

記

- | | | |
|----------------------------------|---|---|
| 1 適正化法第15条の補助金の額の確定額 | 金 | 円 |
| (令和〇〇年〇〇月〇〇日付け〇〇第〇〇〇号による額の確定通知額) | | |
| 2 補助金の確定時に減額した消費税仕入控除税額 | 金 | 円 |
| 3 消費税及び地方消費税の申告により確定した消費税仕入控除税額 | 金 | 円 |
| 4 補助金返還相当額（3の金額から2の金額を減じて得た額） | 金 | 円 |

(注) 記載内容の確認のため、以下の資料を添付すること。（補助事業に要した経費に係る消費税及び地方消費税相当額の全額について、補助金相当額を補助金の額から減額した場合は、（3）の資料を除き添付不要である。）

なお、事業実施主体が法人格を有しない組合等の場合は、すべての構成員分を添付すること。

- (1) 消費税確定申告書の写し（税務署の收受印等のあるもの）
- (2) 付表2「課税売上割合・控除対象仕入税額等の計算表」の写し
- (3) 3の金額の積算の内訳（人件費に通勤手当を含む場合は、その内訳を確認できる資料も併せて提出すること）
- (4) 事業実施主体が消費税法第60条第4項に定める法人等である場合、同項に規定する特定収入の割合を確認できる資料

5 当該補助金に係る消費税仕入控除税額が明らかにならない場合、その状況を記載

(注) 消費税及び地方消費税の確定申告が完了していない場合にあっては、申告予定時期も記載すること。

6 当該補助金に係る消費税仕入控除税額がない場合、その理由を記載

(注) 記載内容の確認のため、以下の資料を添付すること。

なお、補助事業者が法人格を有しない組合等の場合は、すべての構成員分を添付すること。

- (1) 免税事業者の場合は、補助事業実施年度の前々年度に係る法人税（個人事業者の場合は所得税）確定申告書の写し（税務署の收受印等のあるもの）及び損益計算書等、売上高を確認できる資料
- (2) 新たに設立された法人であって、かつ免税事業者の場合は、設立日、事業年度、事業開始日、事業開始日における資本金又は出資金の金額が証明できる書類など、免税事業者であることを確認できる資料
- (3) 簡易課税制度の適用を受ける事業者の場合は、補助事業実施年度における消費税確定申告書（簡易課税用）の写し（税務署の收受印等のあるもの）
- (4) 補助事業者が消費税法第60条第4項に定める法人等である場合は、同項に規定する特定収入の割合を確認できる資料

別記様式第13号（実施規程 第9第11項 関係）

G F Pフラッグシップ輸出産地形成プロジェクト事業成果報告書

番 号
年 月 日

株式会社 J T B
代表取締役 社長執行役員
山北 栄二郎 殿

事業実施主体名
氏名

令和〇年〇月〇日付け第〇〇〇〇号により補助金の交付決定の通知があった事業について、G F Pフラッグシップ輸出産地形成プロジェクト実施規程第9第11項の規定に基づき、別添1、別添2及び別添3のとおり報告する。

（注）関係書類として別添1、別添2及び別添3を添付すること。

1 活動内容

（当該事業により取り組んだ活動内容を記載するとともに、翌年度以降、事業効果の発現及び輸出促進に向けた取組について記載してください。・写真などを添付し、具体的な内容がわかるように記載してください。）

2 事業の成果目標と成果

（事業前と事業後の成果を具体的に記載してください。事業成果の発現を複数年にわたり設定している場合は、進捗状況等を記載してください。輸出額、輸出量、輸出増加割合については、別添2に記載してください。）

3 評価及び要因分析

(成果目標の達成状況の評価し、目標を達成していない場合は、その要因と課題を詳細に分析してください。)

4 次年度以降の活動方針

(評価と要因分析を踏まえた翌年度以降の活動方針について、具体的に記載してください。)

5 特記事項

6 添付資料

別記様式第13号（実施規程 第7、第8、第9第11項 関係） 別添2

7 事業の成果目標と成果（輸出額、輸出量、輸出増加割合）

現状の実績等を以下に記載してください。

量に関しては、財務省貿易統計のHSコードに準ずる単位を使用してください。（例：MT、KG、KL、L等 ※ケースや箱は不可）

※【目標】の欄には、申請時に設定した目標を記載してください。

	品目	品名	対象国・地域名	輸出額							増加割合 (対令和3年度輸出額)							輸出量							量の単位 MT KG KL L等	増加割合 (輸出量)							
				【実績】 令和3年度 (円)	【実績】 (見込) 令和4年度 (円)	【実績】 令和4年度 (円)	【目標】 令和5年度 (円)	【実績】 令和5年度 (円)	【目標】 令和6年度 (円)	【実績】 令和6年度 (円)	【実績】 令和3年度	【実績】 (見込) 令和4年度 (%)	【実績】 令和4年度 (%)	【目標】 令和5年度 (%)	【実績】 令和5年度 (%)	【目標】 令和6年度 (%)	【実績】 令和6年度 (%)	【実績】 令和3年度 (量)	【実績】 (見込) 令和4年度 (量)	【実績】 令和4年度 (量)	【目標】 令和5年度 (量)	【実績】 令和5年度 (量)	【目標】 令和6年度 (量)	【実績】 令和6年度 (量)		【実績】 令和3年度	【実績】 (見込) 令和4年度 (%)	【実績】 令和4年度 (%)	【目標】 令和5年度 (%)	【実績】 令和5年度 (%)	【目標】 令和6年度 (%)	【実績】 令和6年度 (%)	
例	1	かんきつ	うんしゅうみかん	▲▲国	0	1,500,000	1,600,000	2,000,000	2,100,000	2,500,000	2,700,000		-	-	-	-	-	0	15,000	16,000	20,000	21,000	25,000	26,000	KG		-	-	-	-	-	-	
例	2	かんきつ	うんしゅうみかん	○○国	1,000,000	1,500,000	1,600,000	2,000,000	2,100,000	2,500,000	2,700,000		50.0	60.0	100.0	110.0	150.0	170.0	10,000	15,000	16,000	20,000	21,000	25,000	26,000	KG		50.0	60.0	100.0	110.0	150.0	160.0
	1												#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!										#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!
	2												#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!										#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!
	3												#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!										#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!
	合計				0	0	0	0	0	0	0							0	0	0	0	0	0	0									

※全ての対象品目、国毎の目標を記載する必要がありますので、必要に応じて行を増やして記載してください。

※増加割合＝（増加後の数値－増加前の数値）/増加前の数値）×100

※令和3年度の輸出額実績が無い場合、増加割合欄に「-」を記載してください。

※実施規程別記様式第11号別添2により作成した内容を更新してください。

GFPフラッグシップ輸出産地形成プロジェクト

●所得向上効果の把握・検証①

【損益計算書①】※1

事業実施主体名：〇〇協議会（〇〇県）（品目：〇〇）

参画事業者である株式会社〇〇やJA〇〇の構成員〇〇

科目	令和3年度 (円) A		令和4年度 (円) B		令和5年度 (円) C		R6年度 (円) D		令和6年度と 令和3年度の比較 【増減額】 (円) E (D-A)		令和6年度と 令和3年度の比較 【増減率】 (%) F (D/A)		備考 (Eの増減要因など) ※2
売上高									0	0		#DIV/0!	輸出業務の拡大による増
売上原価									0	0	#DIV/0!	#DIV/0!	輸出業務の拡大による増
売上総利益									0	0		#DIV/0!	輸出業務の拡大による増
販売費および一般管理費									0	0			
人件費									0	0			輸出業務の拡大により、 ・従業員2人増 ・人件費単価の増
役員報酬									0	0	#DIV/0!		詳細は、別記様式第11号別添3-3に記載 ※3
給与手当									0	0	#DIV/0!		詳細は、別記様式第11号別添3-3に記載 ※3
賞与									0	0	#DIV/0!		詳細は、別記様式第11号別添3-3に記載 ※3
減価償却費									0	0	#DIV/0!		
その他販売管理費									0	0	#DIV/0!	#DIV/0!	
営業利益									0	0		#DIV/0!	輸出業務の拡大による増
経常利益									0	0		#DIV/0!	輸出業務の拡大による増
税引前当期純利益									0	0		#DIV/0!	
当期純利益									0	0		#DIV/0!	

【損益計算書②】※1

事業実施主体名：〇〇協議会（〇〇県）（品目：〇〇）

参画事業者であるJA〇〇の構成員〇〇 等

科目	令和3年度 (円) A		令和4年度 (円) B		令和5年度 (円) C		R6年度 (円) D		令和6年度と 令和3年度の比較 【増減額】 (円) E (D-A)		令和6年度と 令和3年度の比較 【増減率】 (%) F (D/A)		備考 (Eの増減要因など) ※2
収入										0		#DIV/0!	輸出業務の拡大による増
費用										0		#DIV/0!	
利益										0		#DIV/0!	

(記載要領)・・・黄色セルに金額等を記載して下さい。

※1 代表的な参画事業者とその構成員について記載してください。

法人として作成している損益計算書がある場合は【損益計算書①】に転記してください。【損益計算書①】を記載できない参画事業者やその構成員は【損益計算書】②を記載してください。

※2 備考欄に増減要因を項目ごとに詳細に記載してください。その他に特記事項がある場合も記載してください。（増減要因が輸出業務に関する場合は必須）

※3 役員報酬、給与手当及び賞与の詳細は、別記様式第13号別添3-3に記載してください。

GFPフラッグシップ輸出産地形成プロジェクト

●所得向上効果の把握・検証②

【輸出に取組むことによる出荷単価の向上による農業経営の変化】

事業実施主体名：〇〇協議会（〇〇県）（品目：〇〇）

参画事業者：JA〇〇

事業者等名称：平均的な規模の経営体

	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	販売額 (円)	販売量 (kg)	平均出荷 単価 (円/kg)	販売額 (円)	販売量 (kg)	平均出荷 単価 (円/kg)	販売額 (円)	販売量 (kg)	平均出荷 単価 (円/kg)	販売額 (円)	販売量 (kg)	平均出荷 単価 (円/kg)
① 国内向け			#DIV/0!			#DIV/0!			#DIV/0!			#DIV/0!
② 輸出向け (※1)			#DIV/0!			#DIV/0!			#DIV/0!			#DIV/0!
③ 合計	0	0	#DIV/0!	0	0	#DIV/0!	0	0	#DIV/0!	0	0	#DIV/0!

	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和6年度－令和3年度 【増減額】		令和6年度／令和3年度 【増減率 (%)】	
	輸出に 取組む 経営体 A	国内出荷 のみの 経営体 B	輸出に 取組む 経営体	国内出荷 のみの 経営体	輸出に 取組む 経営体	国内出荷 のみの 経営体	輸出に 取組む 経営体 C	国内出荷 のみの 経営体 D	輸出に 取組む 経営体 C-A	国内出荷 のみの 経営体 D-B	輸出に 取組む 経営体 C/A	国内出荷 のみの 経営体 D/B
④ 平均出荷単価 (円/kg)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
⑤ 収量 (kg/10a) (※2)											#DIV/0!	#DIV/0!
⑥ 収入 (円/10a) (④×⑤)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
⑦ 経費 (円) (※2)											#DIV/0!	#DIV/0!
⑧ 10aあたりの所得 (円) (⑥-⑦)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
⑨ 所得率 (%) (⑧/⑥)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
⑩ 年間平均所得 (円) (③ (販売量) ÷ ⑤ × ⑧) (※3)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

備考 (※3)

⑤⑦は、〇〇県経営指標 (〇年〇月) から引用

(記載要領) 黄色部分に数値等を記載してください。

※1 記載例では、平均的な規模の経営体の出荷量の2割を輸出するとして計算 (税抜き) しています。

実態に応じて、全体の販売額・販売量に占める輸出向け販売額・販売量を記載してください。

※2 対象品目の収量及び経費については、県等の既存の経営指標等を引用 (税抜き) して記載して頂いても結構です。

※3 ※2で経営指標等から引用した場合は、備考に引用した経営指標等名称を記載してください。

	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和6年度－令和3年度 【増減面積】		令和6年度／令和3年度 【増減率 (%)】	
	輸出に 取組む 経営体 (㈬)	国内出荷 のみの 経営体 (㈬)	輸出に 取組む 経営体 (㈬)	国内出荷 のみの 経営体 (㈬)	輸出に 取組む 経営体 (㈬)	国内出荷 のみの 経営体 (㈬)	輸出に 取組む 経営体 (㈬)	国内出荷 のみの 経営体 (㈬)	輸出に 取組む 経営体 (㈬)	国内出荷 のみの 経営体 (㈬)	輸出に 取組む 経営体 (%)	国内出荷 のみの 経営体 (%)
経営体別の平均栽培面積 (㈬)									0	0	#DIV/0!	#DIV/0!

※本事業の参画事業者 (JA〇〇 △△部会等) において、輸出に取り組んでいる生産者の平均栽培面積と、国内向けのみを生産を行っている生産者の平均栽培面積をそれぞれ算出してください。

【参考】上記の参画事業者の栽培面積の推移

参画事業者：JA〇〇	令和3年度 (㈬) A	令和4年度 (㈬) B	令和5年度 (㈬) C	令和6年度 (㈬) D	増減面積 (㈬) D-A	増減率 (%) D/A	備考
品目：〇〇							
栽培面積 (㈬)	80	85	90	95	15	118.8%	
うち輸出に対応した栽培面積 (㈬)	0	10	20	30	30	#DIV/0!	本事業により輸出向け栽培面積を拡大

(記載要領) 黄色部分に数値等を記載してください。

※本事業で対象とした品目の栽培面積の推移を記載してください。

※上記の参画事業者以外で、本事業に取り組むことにより輸出産地形成を行った者がある場合、本様式を用いてそれぞれ作成してください。

GFPフラッグシップ輸出産地形成プロジェクト
●所得向上効果の把握・検証③

【役員報酬、従業員給与の推移】

事業実施主体名：〇〇協会（〇〇県）（品目：〇〇）
参画事業者：JA〇〇
事業者等名称：〇〇

合計	令和3年度 A	単価	令和4年度 B	単価	令和5年度 C	単価	令和6年度 D	単価	令和6年度と 令和3年度の比較 【増減額】 (千円) E (D-A)	令和6年度と 令和3年度の比較 【増減率】 (%) F (D/A)	備考 (Dの増減要因など) ※3
役員報酬※1、2		千円		千円		千円		千円	0	#DIV/0!	
役員報酬支払対象人数		人		人		人		人	0	#DIV/0!	令和4年度末、1名定年退職
1人当たり役員報酬※1、2	#DIV/0!	千円	#DIV/0!	千円	#DIV/0!	千円	#DIV/0!	千円	#DIV/0!	#DIV/0!	令和6年度、輸出業務拡大による増
給与手当（給与所得）※1、2	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	#DIV/0!	輸出業務の拡大により、 ・正社員1人増 ・非正社員1人増 ・人件費単価の増
うち正社員※1、2		千円		千円		千円		千円	0	#DIV/0!	
うち非正社員※1、2		千円		千円		千円		千円	0	#DIV/0!	
給与手当支払対象人数		人		人		人		人	0	#DIV/0!	
うち正社員※1、2		人		人		人		人	0	#DIV/0!	
うち非正社員※1、2		人		人		人		人	0	#DIV/0!	
正社員1人当たり給与手当（年間平均）※1、2	#DIV/0!	千円	#DIV/0!	千円	#DIV/0!	千円	#DIV/0!	千円	#DIV/0!	#DIV/0!	・役職に応じて●●円程度増額 ・令和6年度：ベースアップ●●%（令和5年度比） ・令和6年度：定期昇給●%（令和5年度比）
非正社員1人当たり給与手当（年間平均）※1、2	#DIV/0!	千円	#DIV/0!	千円	#DIV/0!	千円	#DIV/0!	千円	#DIV/0!	#DIV/0!	役職に応じて●●円程度増額
賞与（給与所得）※1、2	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	#DIV/0!	輸出業務の拡大により、 ・正社員1人増 ・非正社員1人増 ・人件費単価の増
うち正社員への賞与総額※1、2		千円		千円		千円		千円		#DIV/0!	
うち非正社員への賞与総額※1、2		千円		千円		千円		千円		#DIV/0!	
賞与支払対象人数（正社員）		人		人		人		人	0	#DIV/0!	
賞与支払対象人数（非正社員）		人		人		人		人	0	#DIV/0!	
正社員の1人当たり賞与（年間平均）※1、2	#DIV/0!	千円	#DIV/0!	千円	#DIV/0!	千円	#DIV/0!	千円	#DIV/0!	#DIV/0!	
非正社員の1人当たり賞与（年間平均）※1、2	#DIV/0!	千円	#DIV/0!	千円	#DIV/0!	千円	#DIV/0!	千円	#DIV/0!	#DIV/0!	
正社員1人当たり給与・賞与（年間平均）※1、2	#DIV/0!	千円	#DIV/0!	千円	#DIV/0!	千円	#DIV/0!	千円	#DIV/0!	#DIV/0!	
非正社員1人当たり給与・賞与（年間平均）※1、2	#DIV/0!	千円	#DIV/0!	千円	#DIV/0!	千円	#DIV/0!	千円	#DIV/0!	#DIV/0!	

（記載要領）

＜調査対象＞・・・上記様式には、下記の者について記載してください。
 「正社員」欄・・・＜用語の定義＞の一般労働者のうち、正社員・正職員について記載してください。
 「非正社員」欄・・・＜用語の定義＞の一般労働者のうち、正社員・正職員以外について記載してください。

（参考）「令和3年度賃金構造基本統計調査（厚生労働省）」：主な用語の定義
<https://www.mhlw.go.jp/toukei/itiran/roudou/chingin/kouzou/z2021/yougo.html>

＜用語の定義＞
 「常用労働者」

- 次のいずれかに該当する労働者をいう。
- 1 期間を定めずに雇われている労働者
- 2 1か月以上の期間を定めて雇われている労働者

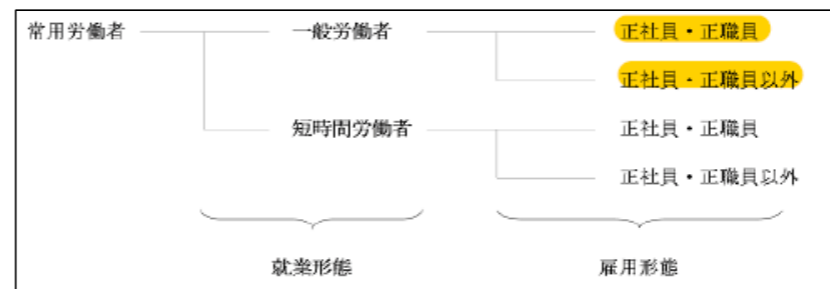
「就業形態」

常用労働者を「一般労働者」と「短時間労働者」に区分して
 「一般労働者」とは、「短時間労働者」以外の者をいう。
 「短時間労働者」とは、同一事業所の一般の労働者より1日の所定労働時間が短い又は1日の所定労働時間が同じでも1週の所定労働日数が少ない労働者をいう。

「雇用形態」

常用労働者を「正社員・正職員」と「正社員・正職員以外」に区分している。
 「正社員・正職員」とは、事業所で正社員、正職員とする者をいい、「正社員・正職員以外」とは、正社員・正職員に該当しない者をいう。

- ※1 黄色セルに金額等を記載して下さい。（事業者等の法人等の実績を記載してください。）
 - ※2 事業実施者から役員・正社員・非正社員に支給される所得控除後の給与所得の額を記載してください。【収入金額(源泉徴収される前の金額) - 給与所得控除額 = 給与所得の金額】
 - ※3 備考欄に増減要因を項目ごとに詳細に記載してください。その他に特記事項がある場合も記載してください。（増減要因が輸出業務に関する場合は必須）
- （例）給与が高いベテラン社員の定年退職が続いたため、従業員一人当たりの平均給与金額が下がっているが、輸出を開始した令和〇年以降、毎年、従業員の給与を〇%ベースアップしている 等



GFPフラッグシップ輸出産地形成プロジェクト

●所得向上効果の把握・検証④

【仕入単価、販売単価等の推移】

事業実施主体名：〇〇協議会（〇〇県）（品目：〇〇）

参画事業者：JA〇〇

合計	令和3年度 (円) A	単価	令和4年度 (円) B	単価	令和5年度 (円) C	単価	令和6年度 (円) D	単価	令和6年度と 令和3年度の比較 【増減額】 (円) D-A	令和6年度と 令和3年度の比較 【増減率】 (%) D/A	備考 (Dの増減要因など) ※1	
	※2【選択式】											
自社販売単価の推移												
<国内向け>												
【品目】かんきつ（平均）※3									0	#DIV/0!	単価設定の考え方：●●	
【品目】りんご（平均）※3									0	#DIV/0!	単価設定の考え方：●●	
<輸出向け>									0			
【品目】かんきつ（タイ向け）（平均）※3									0	#DIV/0!	単価設定の考え方：●●	
【品目】かんきつ（アメリカ向け）（平均）※3									0	#DIV/0!	単価設定の考え方：●●	
【品目】りんご（台湾向け）（平均）※3									0	#DIV/0!	単価設定の考え方：●●	
【品目】りんご（アメリカ向け）（平均）※3									0	#DIV/0!	単価設定の考え方：●●	

（記載要領）

黄色セルに金額等を記載して下さい。

※1 備考欄に増減要因を項目ごとに詳細に記載してください。その他に特記事項がある場合も記載してください。（増減要因が輸出業務に関する場合は必須）

※2【選択式】

- ・JA等が生産者から仕入れている場合（買取販売を行っている場合）は、「仕入単価（生産者への支払額）の推移」を選択
- ・JA等が生産者から販売委託を受けている場合は、「販売委託された品目の販売額（農家手取り単価）の推移」を選択
- ・生産者自ら販売している場合は、「自社販売単価の推移」を選択してください。

※3 仕入れ先や販売先ごとではなく、国内向け、輸出向けのそれぞれ平均単価を記載してください。

※4 記載は例なので、品種毎に記載いただいても結構です。

別記様式第14号（実施規程 第12第3項 関係）

財 産 管 理 台 帳

補助事業者名

事業実施年度		令和 年度		農林水産省所管補助金名											
事業 種類	事業の内容				工 期		経 費 の 区 分				処分制限期間		処分の状況		備 考
	事業種目	事業主体	施設区分	設置場所	着 工 年月日	竣 工 年月日	総事業費	負 担 区 分			耐用年数	処分制限 年 月 日	承 認 年月日	処分の内容	
								国庫補助金	都道府県費	その他					
							円	円	円	円					
	計														
	計														
合 計															

注1：処分制限年月日欄には、処分制限の終期を記入すること。

注2：処分の内容欄には、譲渡、交換、貸付け、担保提供等別に記入すること。

注3：備考欄には、譲渡先、貸付先、抵当権の設定権者の名称又は補助金返還額を記入すること。

注4：この書式により難しい場合には、処分制限期間欄及び処分の状況欄を含む他の書式をもって代えることができる。

別記様式第15号（実施規程 第12第6項 関係）

令和〇〇年度
農林水産省所管

令和〇〇年度農林水産物・食品輸出促進緊急対策事業補助金調書

国			地方公共団体名										備考
			歳入			歳出							
補助事業名	交付決定の額	補助率	科目	予算現額	収入済額	科目	予算現額	うち国庫補助金相当額	支出済額	うち国庫補助金相当額	翌年度繰越額	うち国庫補助金相当額	
〇〇事業													
〇〇費	円			円	円		円	円	円	円	円	円	
〇〇費													
その他													

記載要領

- 「補助事業名」欄には、補助事業等の名称のほか、当該補助事業等に要する経費の配分を記載すること。この場合において、経費の配分の記載は、補助条件等によりその変更を禁止され、又はその変更につき承認を要するものとされている経費の配分のみを特記し、その他の経費の配分は、「その他」として一括記載すること。
- 「科目」欄には、歳入にあつては款、項、目及び節を、歳出にあつては款、項、及び目をそれぞれ記載すること。ただし、「補助事業名」欄に特記した経費に対応する地方公共団体の歳出予算の経費が目の内訳の経費であるときは、歳出の「科目」欄には、その目の内訳までを記載すること。
- 「予算現額」欄には、歳入にあつては当初予算額、追加更正予算額等に区分してそれぞれの額を、歳出にあつては当初予算額、追加更正予算額、予備費支出額、流用増減額等に区分してそれぞれの額を記載すること。
- 「備考」欄には、参考となるべき事項を適宜記載すること。
- 補助事業等に係る地方公共団体の歳出予算額の繰越（歳出予算額の一部又は全部を執行せず、その執行しなかった部分の額に相当する金額を新たに翌年度予算に計上する場合を含む。）が行われた場合における翌年度に行われる当該補助事業等に係る補助金等についての調書の作成は、本表に準じて別に作成すること。この場合には、歳入の「科目」欄に「前年度繰越金」の区分を設け、その「予算現額」及び「収入済額」の数字の下にそれぞれ国庫補助金額を内書（ ）すること。